

少数台数のリコール届出の公表について (平成30年7月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成30年7月は11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
7月2日	4293	車名：日野 型式：2KG-FC2ABA 通称名：日野 レンジャー	1	平成30年4月20日
不具合の部位等	<p>中型トラックの横吊り式スペアタイヤキャリアにおいて、</p> <p>① 吊り板の形状が不適切なため、当該キャリアにアルミホイール付タイヤを固定すると、走行中の振動でスペアタイヤが回転することがある。そのため、当該キャリアのチェーン部が損じ切れて、スペアタイヤが脱落するおそれがある。</p> <p>② 巻き取り機構の溶接が不適切なため、溶接強度のばらつきが大きく、十分な安全率を確保できていないものがある。そのため、タイヤ固定時に正規の締付方法によらず過大なトルクで締め付けると溶接部が剥がれて、スペアタイヤが脱落するおそれがある。</p>			

2. 届出者：マツダ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月12日	4298	車名：マツダ 型式：LDA-KE2AW 他 通称名：CX-5	20	平成24年1月11日～ 平成26年2月7日
不具合の部位等	<p>車両の直前および直左の周辺状況を確認するカメラにおいて、レンズ表面のコーティングが不適切なものがある。そのため、洗浄剤や雨水などに含まれる酸でコーティング剤が浸食され、そのまま使用を続けると、レンズ本体も浸食して白濁化し、サイドカメラの映像が徐々に鮮明に映らなくなり、最悪の場合、車両の直前および直左の周辺状況を確認できなくなるおそれがある。</p>			

3. 届出者：ロールスロイス モーターカーズ リミテッド

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月12日	外 2693	車 名：ロールスロイス 型 式：ABA-664S 通称名：ゴースト	66	平成22年6月3日～ 平成23年8月26日
不具合の部位等	ターボチャージャーを冷却するための電動補助クーラントポンプの作動用回路の設計評価が不十分なため、当該ポンプ内の温度及び圧力が上昇すると、回路基板上に金属物質が生成されることがある。そのため、回路がショートし、プラグ接続部が焦げ付き、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

4. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月12日	外 2694	車 名：BMWアルピナ 型 式：ABA-AM10 他 通称名：B5 ビ・ターボ 他	39	平成21年11月12日～ 平成23年11月14日
不具合の部位等	ターボチャージャーを冷却するための電動補助クーラントポンプの作動用回路の設計評価が不十分なため、当該ポンプ内の温度及び圧力が上昇すると、回路基板上に金属物質が生成されることがある。そのため、回路がショートし、プラグ接続部が焦げ付き、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			

5. 届出者：ルノー・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月13日	外 2677	車 名：ルノー 型 式：ABA-RM5M1 他 通称名：ルーテシア R.S	7	平成28年10月25日～ 平成29年3月9日
不具合の部位等	前照灯のオートハイトコントロール（自動光軸調整機能）を制御する電装品電源供給コントロールユニットにおいて、車高の変化を検出するハイトセンサーの初期設定が行われていないため、当該コントロールユニットが車高の変化を認識せず、車両姿勢に応じた光軸調整が行われない。			

6. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月13日	外 2684	車 名：ポルシェ 型 式：ALA-G2J40A 他 通称名：Panamera Turbo S 他	78	平成29年5月13日～ 平成30年5月11日
不具合の部位等	リヤスタビライザリンクにおいて、ボールジョイントブーツ生産時に原材料が不適切なため、亀裂が生じているものがある。そのため、ボールジョイント内部に砂等の異物が侵入し、ボールジョイントが異常摩耗して、最悪の場合、ボールジョイントが外れ、走行安定性が低下するおそれがある。			

7. 届出者：Ferrari Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月19日	外 2685	車名：フェラーリ 型式：AAA-F150 通称名：ラ フェラーリ	35	平成26年5月26日～ 平成28年1月12日
不具合の部位等	車両前部のフロントフードなどの構造装置について、製造時に誤った部品を使用して組み立てたため、車両前面が歩行者に衝突した際に、歩行者の頭部に過度な傷害を与えるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社 KCM

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月20日	4302	車名：日立 型式：YDP-H88 他 通称名：ZW100-6 他	61	平成29年12月1日～ 平成30年5月28日
不具合の部位等	ショベルローダのかじ取り装置において、ステアリング用油圧ホースの強度が不足しているため、操舵時に当該ホースに油圧がかかった場合に、当該ホースが抜けて作動油が漏れ、操舵力が増大するおそれがある。			

9. 届出者：豊和工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月23日	4303	車名：豊和 型式：HF64AH 通称名：豊和スイーパ HF64AH	41	平成22年5月24日～ 平成26年8月8日
不具合の部位等	モータ・スイーパのフレームにおいて、前輪支持部の強度が不足しているため、走行時の振動等により亀裂が生じるものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、当該支持部が破損し、最悪の場合、前輪操舵用チェーンに干渉して、ハンドルの操舵力が増大するおそれがある。			

10. 届出者：株式会社 パブコ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月24日	4304	車名：三菱 型式：2PG-FS74HZ 他 通称名：ふそう スーパーグレート	37	平成29年3月6日～ 平成29年8月25日
不具合の部位等	大型ウィング車のサイドスカート装着車において、 ① リヤオーバーハング部のサイドスクートを固定するストライカーの強度が不足しているため、走行振動等により亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると亀裂が進行しストライカーが破損して、最悪の場合、走行中にサイドスカートが車幅から突出するおそれがある。 ② 前部サイドスクートに備えられた方向指示器の光源、投影面積及び光度が不適切なため、保安基準第41条（方向指示器の基準）を満たさない。			

1 1. 届出者：(株) MV AGUSTA JAPAN

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月26日	外 2674	車 名 : MV AGUSTA 型 式 : ZCGF620 他 通称名 : F4 RC 他	60	平成27年9月8日～ 平成29年10月5日
不具合の部位等	フロントブレーキマスターシリンダー内のピストンにおいて、当該部位の材質が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、ブレーキ作動時のブレーキ液圧により、当該部位に亀裂が生じ、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展し液圧が下がり、最悪の場合、フロントブレーキが効かなくなるおそれがある。			

【参考】

●平成30年7月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	15(-2)	10(-5)	5(+3)
輸入車	19(+4)	13(+1)	6(+3)
計	34(+2)	23(-4)	11(+6)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成30年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	19(-3)	15(+7)	34(+4)	248,015(-560,454)	10,114(+6,476)	258,129(-553,978)
5	16(+7)	18(+3)	34(+10)	303,227(+107,123)	79,960(+71,171)	383,187(+178,294)
6	22(+4)	11(-9)	33(-5)	340,126(+160,909)	141,937(+76,431)	482,063(+237,340)
7	15(-2)	19(+4)	34(+2)	41,450(-143,425)	212,531(+132,149)	253,981(+11,276)
小計	72(+6)	63(+5)	135(+11)	932,818(-435,847)	444,542(+286,227)	1,377,360(-149,620)

※ () 内は、対前年同月比